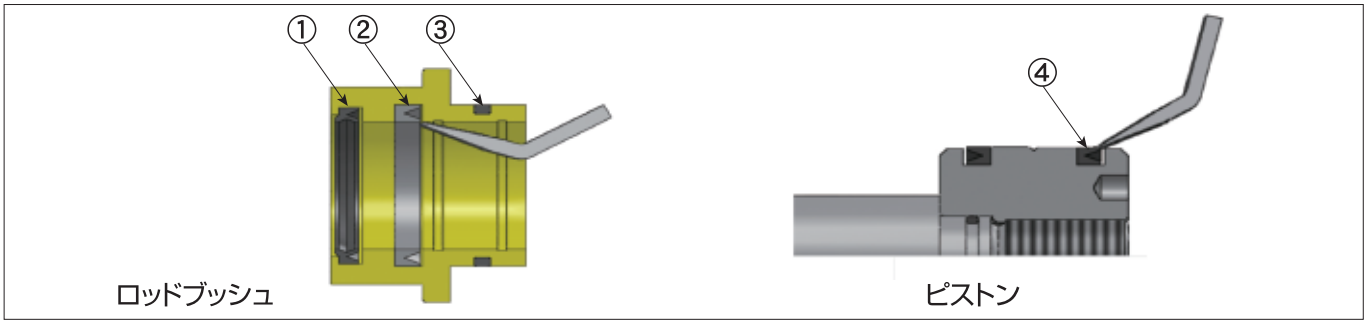
技術情報

油圧シリンダメンテナンス［基礎編］

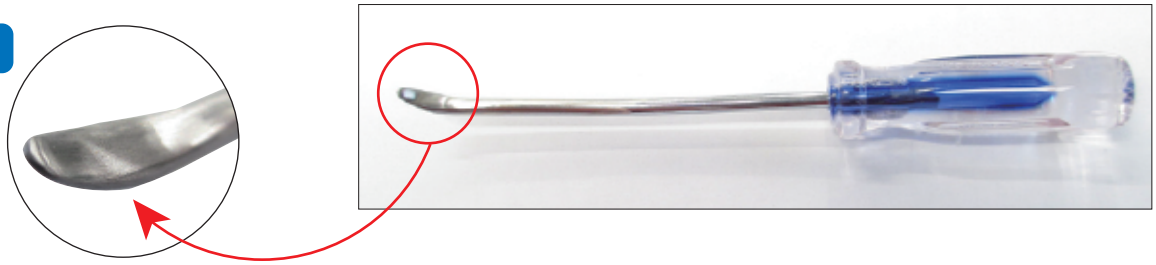
メンテナンスは、製品の寿命延長や欠陥の早期発見に欠かせない技術です。お使いの油圧シリンダを安全かつ快適に、最大限ご活用いただけますよう、メンテナンスの実施をお願いいたします。

1 パッキン及びガスケットの取り外し方法

ロッドブッシュのダストパッキン①、ロッドパッキン②、ロッドブッシュガスケット③、ピストンパッキン④を外す場合は、先端がヘラ状のもので図のように行って下さい。
（例:マイナスドライバーの先端の角を面取りしたようなもの）
※パッキンを取り外す際、パッキン溝に傷をつけないよう注意下さい。



治具紹介



2 分解後の判定及び修正・交換

分解後、下表の項目に従って点検して下さい。

点検箇所	判定基準	処　置
シリンダチューブの内面	1）摺動面に僅かに爪がひっかかる程度　の傷 2）摺動面に縦状の深いひっかき傷	1）ペーパー（#320程度）で修正 ※修正の際、目に沿ってペーパーをかける事。 2）ペーパー（#320程度）で修正不可能であれば新品と交換
ピストンロッドの摺動面	1）摺動面に僅かに爪がひっかかる程度の傷又は、打痕 2）大きい打痕によるメッキの剥がれ	1）ペーパー（#600程度）で修正 2）新品と交換の事
ピストンの摺動面	1）摺動面における多少の摺動傷 2）摺動面に深いひっかき傷や大きな打痕	1）ペーパー（#320程度）で修正 2）新品と交換の事
ロッドブッシュの内面	1）摺動面における多少の摺動傷 2）偏摩耗が直径0.3mm程度以上 3）ロッドブッシュのひびや割れ	1）ペーパー（#320程度）で修正 2）新品と交換の事 3）新品と交換の事
その他	シリンダ用途によって異なりますが、その他カバーの割れ、取付部のクラック、先端のねじ、ポートのねじ等一通り入念に点検し、異常の有無を確認して下さい。	